

東京每日新聞

刊夕日六十月九

定部金貳錢
 廣五號十二
 字詰一行
 料省五十錢
 日刊
 日曜大祭
 日祝日ノ聖

發行兼編輯人 川崎文治
 本社下町番地(電話六三〇番)
 印刷所 常盤毎日印刷所
 電話六三〇番

常盤論壇

措置を誤るな

支那時局に直面して

牧田 武

吳佩孚の將楊森が去月三十日楊子江の上流萬縣に於て英船ワンタンク、ワレンセンの二隻を拿捕し更に英砲艦ココチアアア號を射撃し乗組將卒十數名を死傷せしめたことは英國の對支態度を俄に硬化せしめ英國外務省は最後の手段として武力使用権を與へたるこの事であるが萬縣は武昌漢口より遙に上流にあり水淺く且急灘の所にあり吃水四尺以下の船舶にあらざれば航行殆ど

不可能で假りに航行し得たりとするも一隻を以て二百名以上の兵隊を輸送するは到底出来得ざること冬季に至れば水涸れ愈々困難である従つて此の邊で英國が陽森と交戦すべきとは想像する能はざる所である而して英國が列國に對して共同的外交手段に出づ可し等と勸誘しつつあると聞くが我が國は今日まで英國の採り來りたる態度を顧みて勸誘に應ぜざるは勿論他迄も從來の如く對支絕對不干渉主義に基きこのまゝ事態の推移を傍觀し以て善隣の自由なる立場から自國の權益保全に専心する方針なるべき

明鮮美優
寧町速敏

活版印刷の
御用命を御
願致します

所刷印日每警常
五三町橋長町平
(番〇三六話電)

秋ガ訪レマシタ

新型ノ中折帽・烏打帽
子供帽モ澤山入荷シマシタ

四丁目 ツルヤ

地所埋立請負

弊社南町裏ニ土砂運搬軌道敷設中ノ處今般竣工事業開始致候ニ付全方面一般ノ地所埋立請負仕候間多少ニ拘ハズ御用命相願候

平町字四丁目二番地

工業商會

本日故父雅宣儀告別式執

行に際しては御多用中不御臨席を辱ふし難有御禮申上候早速拜趨御厚禮可申上之處混雜中に付不取敢乍略儀以紙上挨拶に代候

九月十六日
平町南町卅一番地
上田耕作

常盤文藝

淋しければ

吉澤佐嘉英

別れ来てさまよう野邊に日暮れたりま遠きに開ゆる鐘のさびしき。

嫁つぎ行く君と語りしこの丘に今日も来てふくハモニカ淋し。

久々に戀じき君のほろもみをこよいの夢にはれくと見る。

盛岡製南部鐵瓶

御用ノ節ハ左ノ方法デ願ヒマス

- 一、掛金十錢ツ、(金七圓以内ノ品)
- 二、掛金廿錢ツ、(金七圓以上ノ品)

月賦販賣モ致シマス

南部屋(吉田)

平町南町廿九番地

元氣ある店に人集る

拾五歳以下の少年店員を募ります。よく將來を考へ他日立派な商人たらんとする方はお申出でを。

店の組織(卸部一三丁目十五番地 卸部にて外交的手腕を養ひ、小賣部にて販賣仕入に熟達せしむ)

(優遇の途あり、詳細面談)

大黒屋商店

平町三丁目(電話二二六)

祖元支那料理

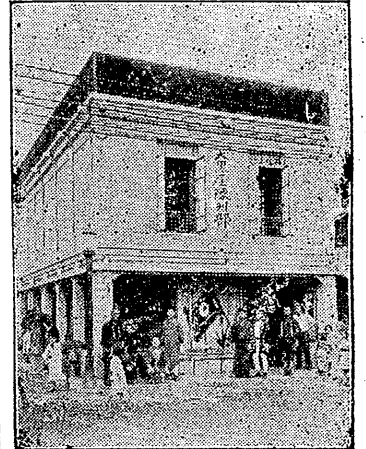
喜來軒

近藤喜多治
平町紺屋町(電五四五)
女給三名至急募集

博愛病院

入院の設備あり

平町田町横丁(横内耳鼻科醫院跡)



元氣ある店に人集る

拾五歳以下の少年店員を募ります。よく將來を考へ他日立派な商人たらんとする方はお申出でを。

店の組織(卸部一三丁目十五番地 卸部にて外交的手腕を養ひ、小賣部にて販賣仕入に熟達せしむ)

(優遇の途あり、詳細面談)

大黒屋商店

平町三丁目(電話二二六)



糸屋久兵衛後日譚

江戸屋久兵衛は 今から三百年前の人

墓所は性源寺に

殆んど無縁同様の型ちて
 本社の探査に依つて糸屋久兵衛の故事が明らかとなつた次第は既報の通りであるが其後糸屋は江戸屋の誤りである事を或る故老が本社に知らして寄こしたる事から三百年前の御用菓子商であつた事が性源寺の過去帳に依つて判つた、高野竹次郎氏の妻と稱す婦人が何故に江戸屋久兵衛の故事を探しに遙々東京から来たのであるかに就いては

其事情

が明らかになつたが段々聞く處に依るとそれは一つの物語りがあるのである。
高野夫人が
 高野竹次郎氏と云ふ人は以前から手廣く東京市神田區佐久間町四丁目彩雲堂と稱して印刷機械や同インキを製造し夫等の諸材料の直輸出 入商を營んで居た、此度平町に來た同氏夫人は千代子(名)と云つて茨城縣の太田から嫁いだ人である、丁度關東大震災の折奇蹟的に高野氏の商店を中心とした數十戸

墓前に額づく

亡父の遺言

近親縁者に迄も病魔の手は伸びて行く……斯ふした病難の間にもとりの手を休めない千代子夫人の胸にフトある事實が浮んだ、それは千代子夫人が未だ振り分け髪の際十四歳の時實父が死出の旅につく此世の名ごりに残した遺言である、私共の先祖は

磐城の

葉子屋を營んで居た江戸屋久兵衛と云ふ人からの分れであり、其人がどう云ふ人で居るかは判らないが、お前が大きなつたなれば必ず探して當て、供養を營む事を忘れてはならない——と

の一言であつた、千代子

夫人は

他家に嫁ぐに至つてからは家事に追はれて身に寸暇なく心にはありながら遂に父親の遺言を果す事が出来ずして今日に及んだのである、千代子夫人は亡き親への手向けとして此際江戸屋久兵衛の墓を探さねばならぬと固い決心を抱き初めて平町の土を踏んだのである、そして身寄りともない知らぬ

他國の

平町に來ては見たが探す糸口さもない覺東ない處から先づ役場を訪ねたのであつた、早くも此事を知つた本社の探査に依り江戸屋久兵衛の輪廓は明瞭となつた爲め夫人は非常な力を得て遂に性源寺に無縁同様となつて居た江戸屋久兵衛の

墓の前

にぬかづく事が出来たのである、尤も同墓所は四丁目の乾物屋管野屋源三郎氏の先々代の妻女が江戸屋から嫁入つたと云ふ關係上當主源三郎氏が彼岸や盆の佛事には香華を



家庭欄

海苔の活用

乾し海苔の保存法について無關心のため折角の好物をしめらかして台なしにしてしまつた時には佃煮にすればよろしい、其の製法は乾し海苔を火にあぶつて小さくもみ海苔十枚に對して醤油一合位の割合で先づ醤油に味淋を少々入れて煮立てその中にもんだ海苔を入れてかきませながら焼きつかぬやうにつゆの少くなつた時火からおろすのです。元來海苔は非常にしつ氣を嫌

手向けて居た由であるが果して江戸屋に久兵衛と云ふ人があつたかどうかに就いては餘りに

古い事

である爲めに明らかでなかつたのである、幸ひ性源寺に殘つて居た過去帳に依り三百年前の江戸屋主人であつた事が初めて解り千代子夫人は自分の多年の望みが徒勞に終らなかつた事を喜んだのである

警銀検査

一行は二春へ既報大藏省添田事務官一行は十一日來磐城銀行事務監査中の處十四日無事終了し十五日早朝平發にて磐城線を下したが一行は三春町に下車同町三春銀行に於て事務検査中なるが年中行事として漸次東北六縣に涉り検査を行ふ豫定であると

拍子抜けの

公認運送合併

過般來全國的に云爲されてゐる、鐵道省公認運送店のばよろしい、其の製法は乾し海苔を火にあぶつて小さくもみ海苔十枚に對して醤油一合位の割合で先づ醤油に味淋を少々入れて煮立てその中にもんだ海苔を入れてかきませながら焼きつかぬやうにつゆの少くなつた時火からおろすのです。元來海苔は非常にしつ氣を嫌

虎眼檢診

廿一日から
 平警察署管内接客業者の結核トラホーム檢診は二十一日から二十五日迄五日間左記日割場所にて行ふと
 ▲二十一日から二十三日迄平 好間 内郷一町二ヶ村平警察署
 ▲二十四日湯本町役場
 ▲二十五日小名濱 江名二町小名濱町役場

平土木委員會

平町土木委員會は本日午前九時より役場内に開き高月台下揚水唧筒据付個所工事進行検査を行つたと

天氣 南東の風 曇り小雨 (日七)

退職賜金の半減問題で

平驛員色めく

鐵道従業員以下退職賜金半減問題については目下全國的に問題となつてゐるが今回選出された水戸運輸事務所管内平驛方部現業員も
従業員中 雇員以下
 に對しては恩給がないのだから退職賜金半減さるゝことは重大問題であるとし之が對策の協議をなす事と現業員連署の上る六日中山水戸運輸事務局長宛に臨時會を開催したき旨請願した處事務所では十一日現業員を

發電所増設

赤井村塩田に

一本松電氣が
 一千キロ發電
 今般二本松電氣株式會社に

召集し來月中開會すべき大會まで延期方説示を受け引退つたが十三日平の現業委員連は同町白銀町の
鐵道會議 所に従業員一同を招ぎ之が報告をなす處あり尙熟議の結果委員各自が分擔的に東鐵管内各運輸事務所現業員と連絡を取り來る大會に於て建議案を提出すべく目下奔走中である

名灸高梨翁來平

東
 京名灸の大家高梨正治翁は來る廿四日迄平町六丁目救

世軍前に出張し一般難病者に施灸する由であるが翁は千葉縣安房郡の人多年學校長及び地方の名譽職を歴任し令弟高梨五良氏は縣會議長となり同熊切和一氏は茨城縣の郡長を務め二男平野憲正氏は醫學博士として長崎醫學專門學校の教授である従つて翁は普通の灸點師でない事が推知さるゝであらう

平窪の水稲に

菌核病發生

石城郡平窪村の水稲に菌核病が發生してゐるのを野村

技師が十四日發見これが撲滅策について同村では郡農會と極力考究中であるが菌核病の水稲に發生することは稀なことで同病は稻莖に發生し數日間も経過すると莖及び葉がだんだん枯れてしまふので秋の收穫には大影響を來すものであると因に野村技師の調査によると平窪一帶は同病が發生した範圍も多く廣汎に亘り被害も相當甚大であると

平町人事

▲出生
 △村木町三〇 富岡勇兵長男重雄
 △揚土二六 桑原善村長男謙治

從業員中 雇員以下に對しては恩給がないのだから退職賜金半減さるゝことは重大問題であるとし之が對策の協議をなす事と現業員連署の上る六日中山水戸運輸事務局長宛に臨時會を開催したき旨請願した處事務所では十一日現業員を

召集し來月中開會すべき大會まで延期方説示を受け引退つたが十三日平の現業委員連は同町白銀町の鐵道會議所に従業員一同を招ぎ之が報告をなす處あり尙熟議の結果委員各自が分擔的に東鐵管内各運輸事務所現業員と連絡を取り來る大會に於て建議案を提出すべく目下奔走中である

世軍前に出張し一般難病者に施灸する由であるが翁は千葉縣安房郡の人多年學校長及び地方の名譽職を歴任し令弟高梨五良氏は縣會議長となり同熊切和一氏は茨城縣の郡長を務め二男平野憲正氏は醫學博士として長崎醫學專門學校の教授である従つて翁は普通の灸點師でない事が推知さるゝであらう

技師が十四日發見これが撲滅策について同村では郡農會と極力考究中であるが菌核病の水稲に發生することは稀なことで同病は稻莖に發生し數日間も経過すると莖及び葉がだんだん枯れてしまふので秋の收穫には大影響を來すものであると因に野村技師の調査によると平窪一帶は同病が發生した範圍も多く廣汎に亘り被害も相當甚大であると